

コンクリート打放し面：下地汚染防止前処理材&仮止めシール材剥離性軽減材

シ ミ ナイン
グラウトパック®-439

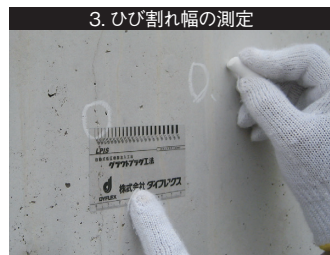
弊社の自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 (SKグラウトプラグ A 工法) 用としてコンクリートの打放し面に対し、前処理材としてグラウトパック®-439 を塗布する事で仮止めシール材のシミ跡が軽減できる下地汚染防止前処理材です。外壁タイル面や塗装面で、グラウトパック®-439 を各現場の下地に応じて水で希釈し最適な条件を事前確認すれば仮止めシール材の剥離性を軽減する事ができます。生分解性素材であり、人体に対して無害で環境に配慮した商品です。



1. 下地清掃
ひび割れ付近をダスター刷毛等で清掃する。



2. グラウトパック®-439 の塗布
100mm程度のローラー刷毛等でひび割れに沿って塗布する。



3. ひび割れ幅の測定
グラウトパック®-439 乾燥後、注入箇所のマーキングとひび割れ幅の測定。



4. 仮止めシールの施工
グラウトパック®-1 でひび割れシールを行うと同時にプラグ取り付けシールを行う。



5. グラウトプラグ A の圧着
プラグ A の取り付け座を圧着する。
(必要に応じてプラグ A の付属の透明ホースを活用する。)



6. 仮止めシール材の養生
硬化確認用のテストシールで硬化を確認する。



7. グラウトプラグ A の圧力タンク取り付け
床面・上げ表面は、圧力タンクの取り付けの向きに注意する。



8. エポキシ樹脂の注入
DF ポンプ - 4 & 5 で注入を行う。



9. 追加注入
圧力タンクに樹脂が無くなれば粘度を高めて追加注入する。



10. エポキシ樹脂の硬化養生
圧力タンクに樹脂が溜まった状態で硬化させる。



11. プラグと仮止めシール材撤去
最初にドライバー等でプラグを撤去した後、仮止めシールを撤去する。



12. 施工完了
注入後にアクアストップ等の浸透性吸水防止材等を塗布する際はグラウトパック®-439 を塗布した箇所を水洗いで洗い流して施工して下さい。

※グラウトパック®-439 を使用する際は、別容器に移し替えて下地に応じて水で希釈して、使用して下さい。

グラウトパック®-439 の特長

- コンクリート打放し面にグラウトパック®-439 を塗布し、乾燥した後にグラウトパック®-1 を施工する事で、仮止めシール材のシミ跡が軽減できます。
- 生分解性素材の為、人体に対する影響がまったくありません。
- 包装容器がチャック付きのスタンディングパウチの為、取り扱いが簡単で使用後のゴミ処理も容易にできます。
- 外壁タイル面や凹凸がある塗装面で、グラウトパック®-439 を水で希釈し事前確認する事で、仮止めシール材の剥離性を軽減する事ができます。
- 注入材を注入する際、注入口を塞ぐ事なく注入ができます。(注入材が 439 の被膜を解かします。)

グラウトパック®-439 の用途

- コンクリート打放し面専用の仮止めシール材シミ跡軽減材
- 外壁タイル面や塗装面の仮止めシール材剥離性軽減材

※事前にコンクリート打ち放し面やタイル面や塗装面の仮止めシール材のシミ跡や剥離性等を各現場の下地に応じて、原液を水で 50%希釈した物で事前確認を必ず行い最適な条件で施工することをお勧め致します。

包装容量 / 標準使用量

500g 袋 (スタンディングパウチ) × 5 / ケース

500g 袋で約 150m ~ 250m (原液で使用した場合) ※

※施工数量は、下地の状況に応じて多少異なります。



事前確認事項

1. 塗装面でグラウトパック®-439 をした後で、再塗装する際は必ず高圧洗浄や水洗いで除去して下さい。
2. グラウトパック®-439 が除去できているかの判断は、水を散布して指で触ってヌメリがなければ、グラウトパック®-439 が除去できていると判断して下さい。

コンクリート打ち放し面での事前確認事項



事前確認 439 塗布

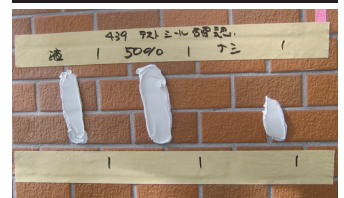


仮止めシールのテスト施工



剥離性・接着性・シミ跡確認

タイル面や塗装面の確認



剥離性・接着性の事前確認

下地の状況によって、剥離性・接着性・仮止めシール材のシミ跡が異なりますので、現場で事前確認を必ず行って下さい。グラウトパック®-439 を塗布すると仮止めシール材の剥離性が良くなる為、グラウトプラグ A を使用する際の圧力は、圧力タンクの目盛り“1”以下で施工して下さい。

取り扱い注意事項

1. 皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗い落とし、湿疹や炎症の兆候が見受けられる場合は、医師の診断を受けて下さい。
2. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で 15 分以上洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
3. 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらしません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のカタログ又はリーフレットの最新版に留意して下さい。カタログ又はリーフレットの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

株式会社 ダイフレックス

〒163-0825 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 25F 私書箱第 6086 号
TEL. 03-6864-0751 FAX. 03-6864-0752